

平成28年度
宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査
全国体力・運動能力，運動習慣等調査
学校保健関係調査

報告書

～子どもたち一人一人の体力向上のために～



平成29年3月

宮城県教育委員会

はじめに

各学校及び各関係機関の皆様には、日ごろから児童生徒の体力・運動能力向上及び健康教育の充実のための施策の推進への御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今後のグローバル化の進展等に対応するため、昨年12月に示された中央教育審議会答申には、時代の変革があっても人間の活動の源である『体力』が「生きる力」の重要な要素であることに変わりはないとの指摘がなされており、食育や安全を含め、学校教育活動全体を通じた『健康教育』に関する取組が一層重要になっているものと捉えております。

県教育委員会では、本県児童生徒の体力・運動能力を把握し、その向上を図るための調査を昭和39年度から開始し、平成18年度からは調査対象を全児童生徒に広げて分析を行ってまいりましたが、本年度からは学校保健統計も含めた健康教育全体に目を向けて報告書を取りまとめることといたしました。

本県の児童生徒の体力・運動能力の中長期的な傾向としては、中学校・高等学校においては平成12年頃からゆるやかな向上傾向にあり、小学校においては長く続いていた低下傾向に一定の歯止めがかかりつつある状況となっております。これまでの各学校における取組が、確実に成果を上げつつあるものと考えております。

体力・運動能力の向上のためには、小学校においては「運動が好き」になるような取組を、中学校においては「運動の質を高める」取組を一層充実させ、「運動習慣」の確立に取り組むとともに、「肥満」や「むし歯」といった健康課題を併せて解決していくことが大変重要であります。

各学校及び各関係機関の皆様におかれましては、各地域やそれぞれの学校の特色を活かし、体育の授業、運動部活動、家庭との連携等の取組を学校全体として充実させ、今後とも、体力・運動能力向上及び健康教育の充実のための取組を推進してくださることを期待しております。

県教育委員会といたしましても、関係部署や関係機関との連携を一層深め対策を進めるとともに、各種教員研修会等の一層の充実を図ってまいりたいと考えております。

結びに、本調査の分析業務を担当していただきました宮城教育大学教育学部前田順一教授をはじめ保健体育講座の皆様から心から感謝申し上げますとともに、本県の子どもたちが生涯を通じて健康で活力ある生活を送り、本県の復興を支える力となることを願って挨拶といたします。

平成29年3月

宮城県教育委員会
教育長 高橋 仁

目 次

ページ

I 「平成28年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査」結果について

平成28年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査実施要項	1
1 校種別の平成28年度と平成27年度（前年度）との結果比較	2
2 平成28年度の県平均と地域別平均との結果比較	3
3 平成28年度宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査 平均値一覧	8
4 中期経年比較（平成18年度～平成28年度）〔小5・中2・高2男女〕	9
5 長期経年変化（昭和39年度～平成28年度）〔50m走：小5・中2・高2男女〕	10

II 「平成28年度全国体力・運動能力，運動習慣等調査（宮城県分）」結果について

平成28年度全国体力・運動能力，運動習慣等調査（宮城県分）調査の概要	11
1 体力合計点の推移	12
2 種目別のT得点比較	13
3 運動時間の状況（一週間の総運動時間）	14
4 「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツが好き」と答えた児童生徒の割合	15
5 健康三原則（運動・食事・睡眠）に対する意識の状況	16
6 質問紙による調査	17
7 運動部活動等の加入率及び一週間の総運動時間の状況	18
8 Web なわ跳び広場参加校の「体力合計点」の状況	19
9 地域別の体力・運動能力の状況	20

III 学校保健関係調査結果について

「平成28年度学校保健統計調査」

1 肥満傾向児の出現率	21
2 肥満傾向児の出現率の推移	22
3 むし歯被患者【処置完了者と未処置歯のある者】の割合の推移	23

「平成28年度宮城県児童生徒の健康課題統計調査」

1 地域別の肥満傾向児の出現率の状況	24
2 地域別の永久歯う歯り患の状況（う歯り患率）	25

「平成28年度体力・運動能力，健康課題に係る取組状況調査」

IV 課題と取組

1 課題と取組の方向性	29
2 今後の取組	30
○学校全体での取組の5つのポイント	31
○体力・運動能力調査結果の有効活用のために	32

V 事例紹介

1 体力・運動能力向上・健康課題に向けた取組事例の紹介と活用	34
2 小学校の取組事例	35
3 中学校の取組事例	46
4 高等学校の取組事例	55

I

宮城県小・中・高等学校児童生徒 体力・運動能力調査結果について



長なわ8の字跳びに挑戦している小学生の様子

平成28年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査実施要項

1 調査目的

県内の児童生徒が自分の体力・運動能力を知り、その向上に関心を持ち、自ら体力・運動能力を向上させようとする意欲を育てるとともに、児童生徒の体力・運動能力の状況を保護者、教員等がしっかり把握し適切な指導や支援ができるようにする。

2 調査の内容と方法

(1) 調査の内容

		小学校		中学校		高等学校（全日制）	
		男	女	男	女	男	女
1	握力	○	○	○	○	○	○
2	上体起こし	○	○	○	○	○	○
3	長座体前屈	○	○	○	○	○	○
4	反復横とび	○	○	○	○	○	○
5	20m シャトルラン	○	○	△	△	△	△
6	持久走（男 1,500m, 女 1,000m）						
7	50m 走	○	○	○	○	○	○
8	立ち幅とび	○	○	○	○	○	○
9	ソフトボール投げ	○	○				
10	ハンドボール投げ			○	○	○	○

△はどちらかを選択して実施する。

(2) 調査の方法

- ① 小学校児童は、文部科学省「新体力テスト実施要項」（6歳～11歳対象）により実施する。
- ② 中・高等学校生徒は、文部科学省「新体力テスト実施要項」（12歳～19歳対象）により実施する。

3 調査対象と人数

公立小・中・高等学校（全日制課程のみ）の全学年男女児童生徒（仙台市を含む）

4 調査実施時期

平成28年5月～平成28年10月中旬（小学5年生及び中学2年生については7月中旬までに実施）

5 調査記録の報告等について

別紙「平成28年度宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査集計結果報告要項」による。

6 体力・運動能力調査記録カードについて

小・中学校及び高等学校の12年間継続して使用できる「体力・運動能力調査記録カード」の活用については、別紙「宮城県小・中・高等学校児童生徒体力・運動能力調査記録カード取扱要項」による。

7 実施上の一般的注意（文部科学省実施要項から）

- (1) テストの実施に当たっては、児童生徒の健康状態を十分把握し、事故防止に万全の注意を払う。特に医師から運動を禁止または制限されている者はもちろん、当日身体の異常（発熱、倦怠感など）を訴える者には行わない。なお、小学1年生については、健康診断を実施した後に行う。
- (2) テストは定められた方法のとおり正確に行う。また、あらかじめ練習を行いテスト種目に慣れておくことが望ましい。
- (3) テスト前後には、適切な準備運動及び整理運動を行う。
- (4) テスト場の整備、器材の点検を行う。
- (5) テストの順序は定められていないが、20m シャトルラン（往復持久走）及び持久走は最後に実施する。
- (6) 計器（握力計、ストップウォッチなど）は正確なものを使用し、その使用方法を誤らないようにする。また、すべての計器は使用前に点検することが望ましい。
- (7) 水泳授業後に50m 走や20m シャトルラン（往復持久走）及び持久走など走力や持久力を測る種目は実施しないこと。

1 校種別の平成28年度と平成27年度（前年度）との結果比較

平成28年度の体力・運動能力調査の結果と平成27年度（前年度）の結果を、校種別、測定種目別に比較した。

区 分		握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		シャトルラン		持久走		50 m 走		立ち幅とび		ボール投げ	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
小 学 校	1	+	+	+	+	-	-	+	+	+	+			+		+	+		
	2	+	+	+	+		-	+	+		+			+	+		+		+
	3	+	+	+	+	-		+	+		+				+	+	+		+
	4			+	+		-	+	+	+	+			+	-	+		+	
	5		+	+	+			+	+	+	+				+				+
	6							+	+		+			+	+		+		
中 学 校	1	-		-		-	-		+	-	+	-	-	+		-	+	-	+
	2			-	-	+		+	+	+						+			-
	3	-		-		-	-					-						-	
高 等 学 校	1	-	-	-	-		-	+	+					+	+			-	-
	2	-		-													-		
	3															-	-		-

【 表の記号について 】

- ・ **+** は明らかに向上した種目
- ・ **-** は明らかに低下した種目
- ・ 空欄は、有意な差が見られない種目

【 結果比較の概要 】 () は前年の割合

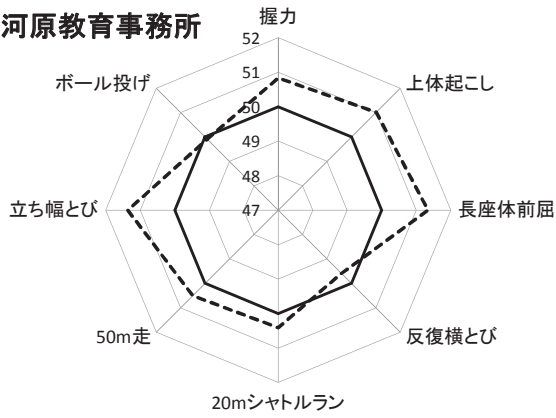
校 種	低下種目の割合	維持種目の割合	向上種目の割合	
小学校	6.3% (28.1%)	34.3% (47.9%)	59.4% (24.0%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向上した種目の割合が著しく高くなっている。 ・ 全学年男女で、反復横とびの向上が見られた。 ・ 全学年の女子で、20mシャトルランの向上が見られた。 ・ 1~3学年においては、男女ともほとんどの種目で向上が見られた。
中学校	33.3% (22.2%)	48.2% (53.7%)	18.5% (24.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向上した種目の割合よりも低下した種目の割合が高くなっている。 ・ 1学年男子は、9種目中7種目で低下したが、女子においては4種目で向上が見られた。 ・ 2学年男女ともに、反復横とびが向上し、上体起こしが低下した。 ・ 3学年男子では、9種目中5種目の低下が見られた。
高等学校	24.1% (9.3%)	68.5% (48.1%)	7.4% (42.6%)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向上した種目の割合よりも低下した種目の割合が高くなっている。 ・ 1学年男女ともに、反復横とび、50m走が向上し、握力、上体起こし、ボール投げで低下が見られた。 ・ 3学年男女ともに、立ち幅とびで低下が見られた。

2 平成28年度の県平均と地域別平均との結果比較

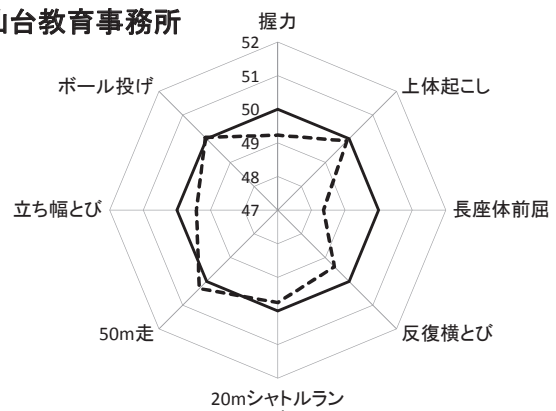
平成28年度の体力・運動能力調査について、地域別の状況をみるため、教育（地域）事務所ごとに、県平均との比較をレーダーチャートにまとめた。各グラフとも、県平均を50とし、各管内の記録を相対値で表した。なお、統一したスケールを用いるために、グラフに収まらなかった種目については、その値を種目の近くに記載している。

【小学校5年生男子】 (50の実線が県平均)

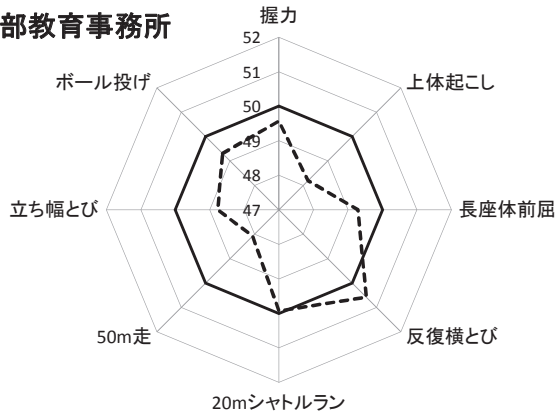
大河原教育事務所



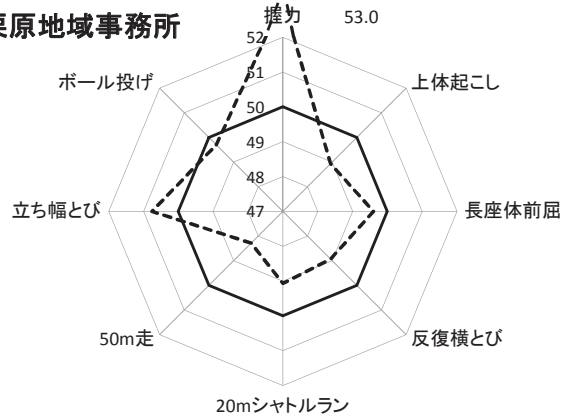
仙台教育事務所



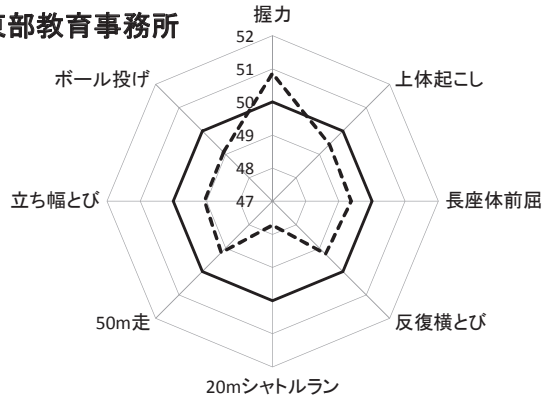
北部教育事務所



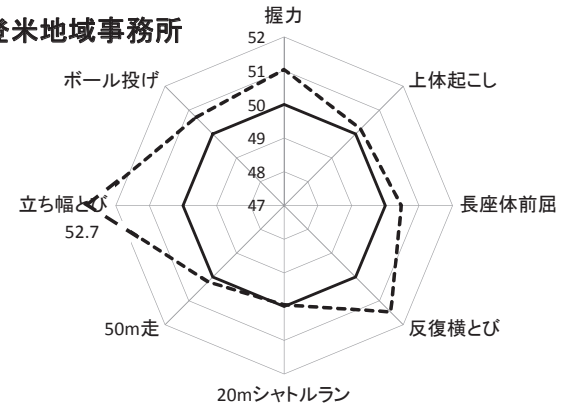
栗原地域事務所



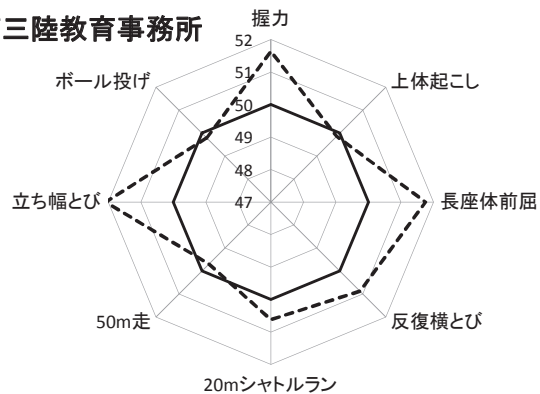
東部教育事務所



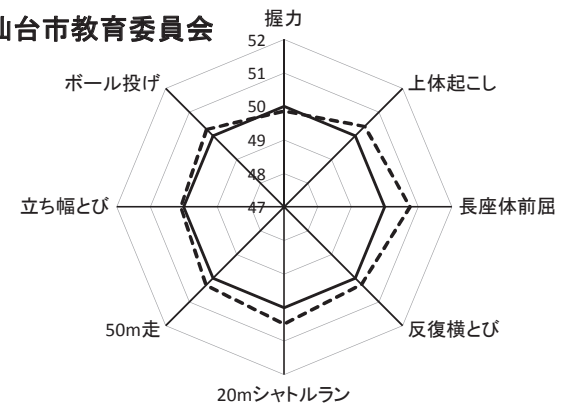
登米地域事務所



南三陸教育事務所

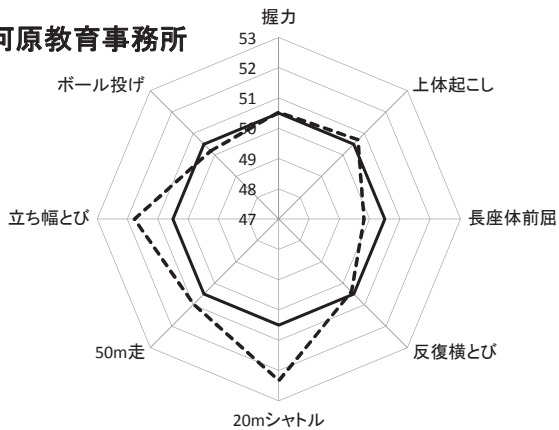


仙台市教育委員会

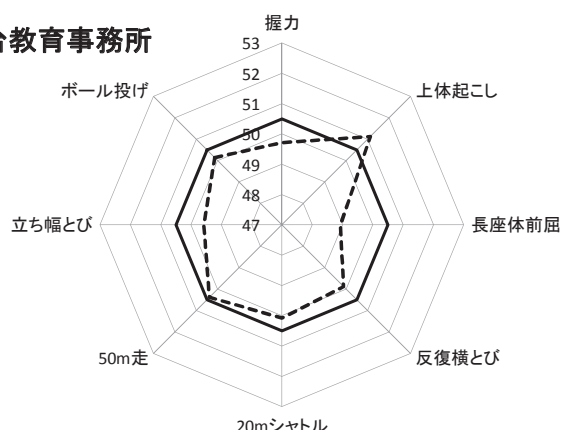


【小学校5年生女子】 (50の実線が県平均)

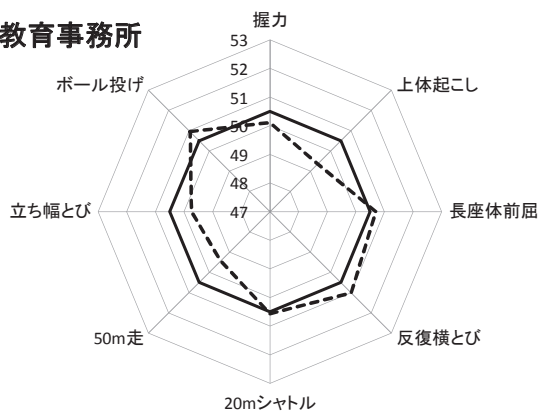
大河原教育事務所



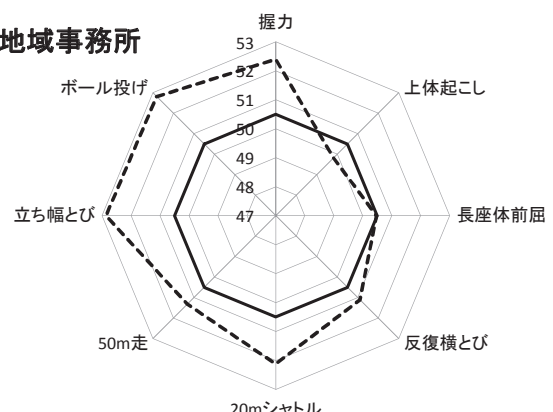
仙台教育事務所



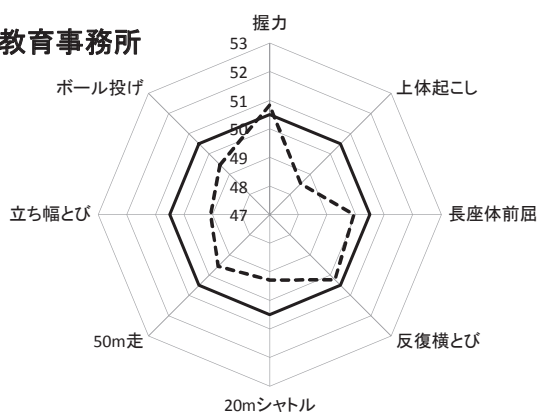
北部教育事務所



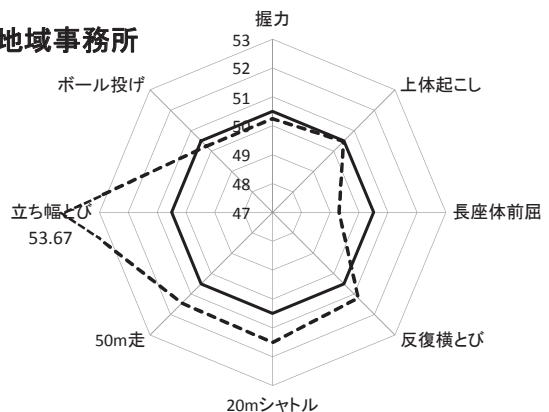
栗原地域事務所



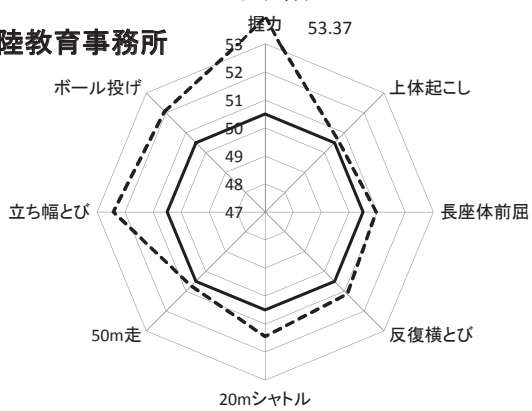
東部教育事務所



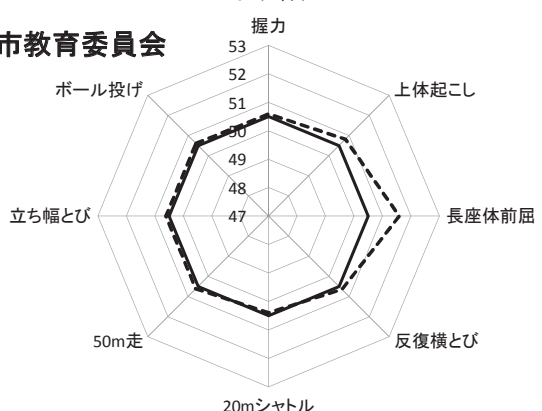
登米地域事務所



南三陸教育事務所

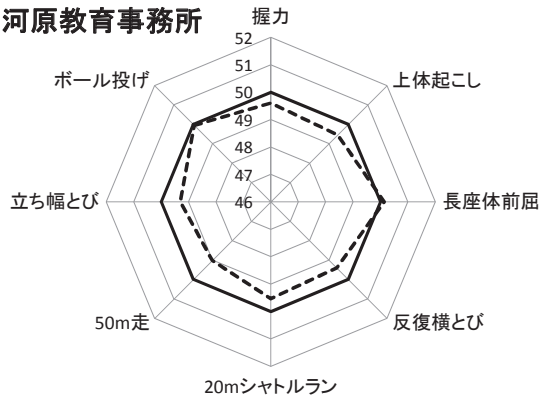


仙台市教育委員会

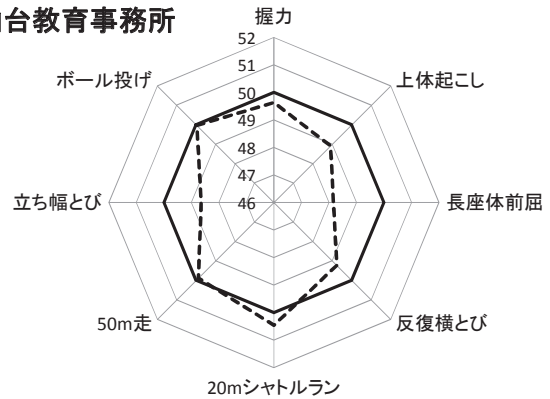


【中学校2年生男子】 (50の実線が県平均)

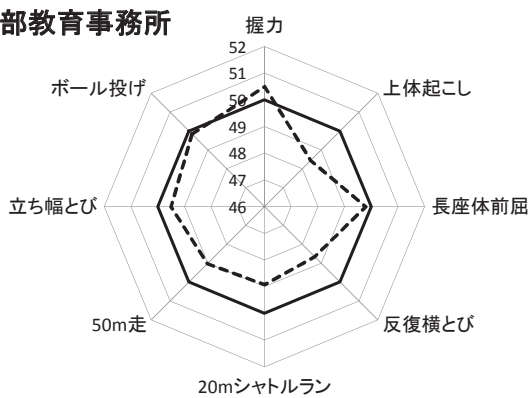
大河原教育事務所



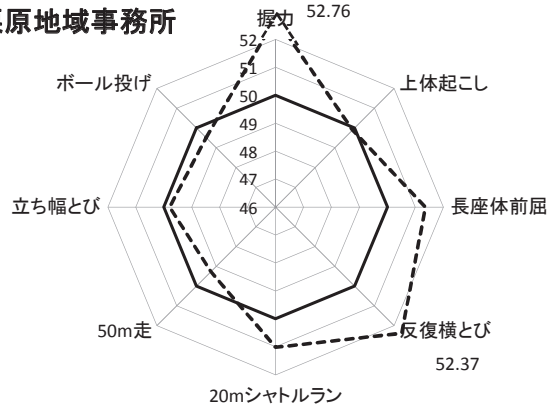
仙台教育事務所



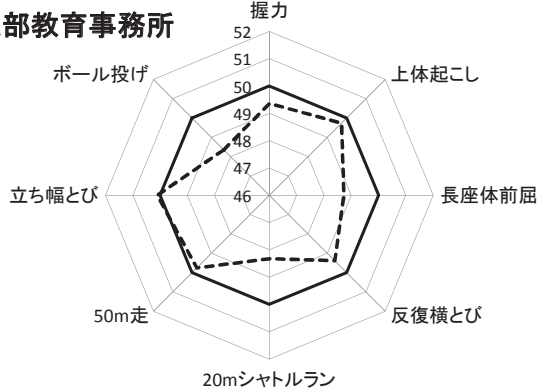
北部教育事務所



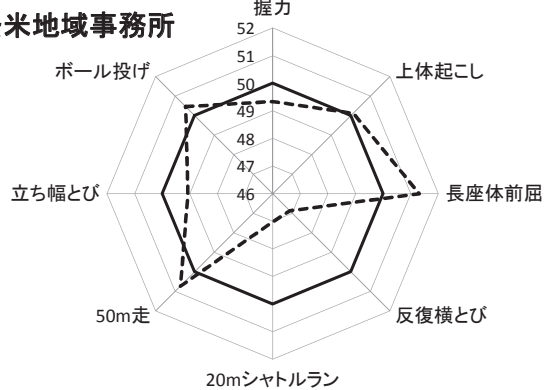
栗原地域事務所



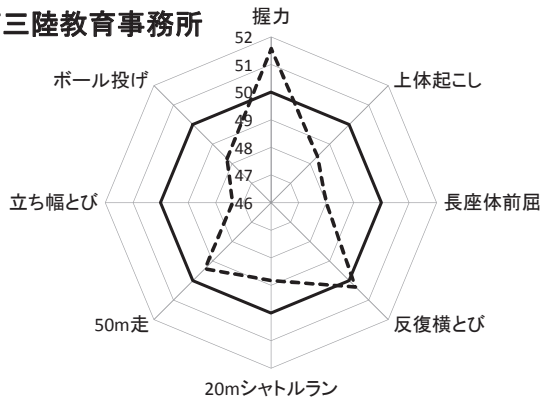
東部教育事務所



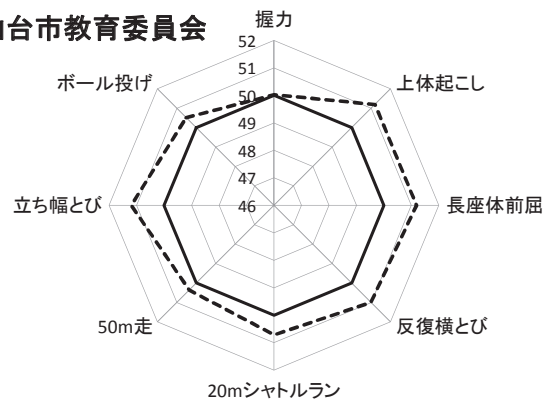
登米地域事務所



南三陸教育事務所

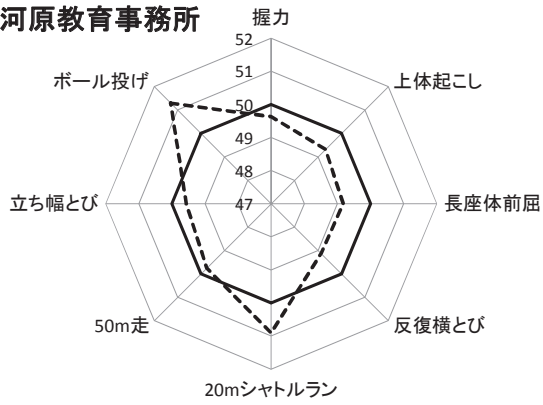


仙台市教育委員会

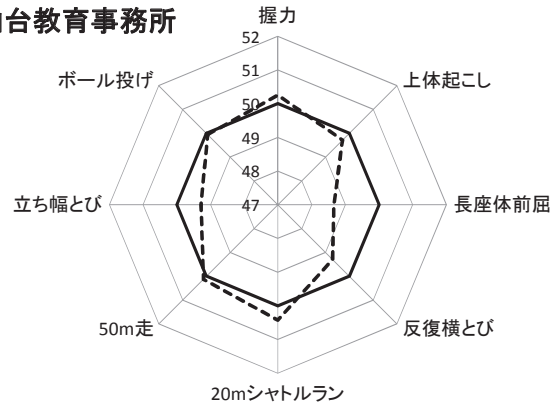


【中学校2年生女子】 (50の実線が県平均)

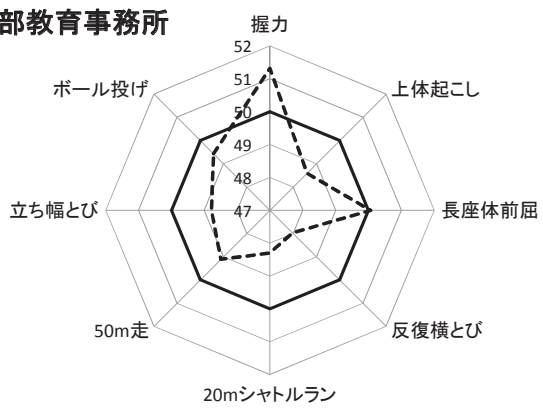
大河原教育事務所



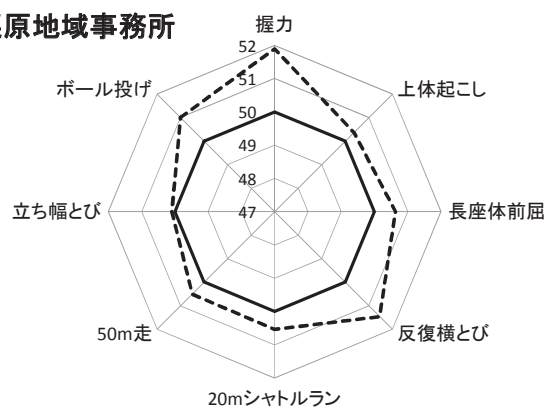
仙台教育事務所



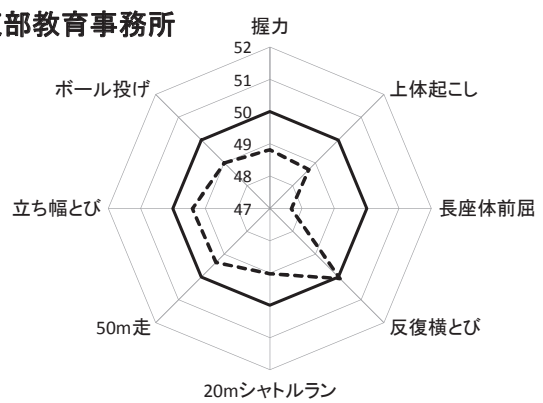
北部教育事務所



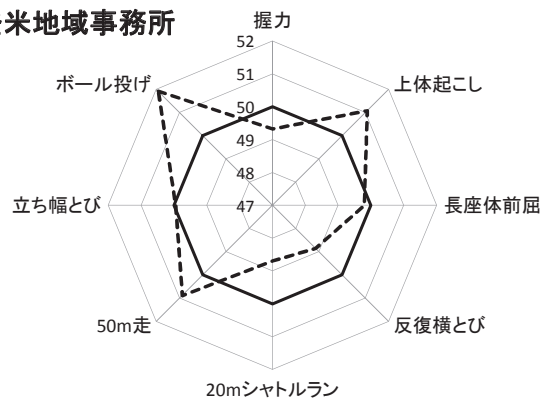
栗原地域事務所



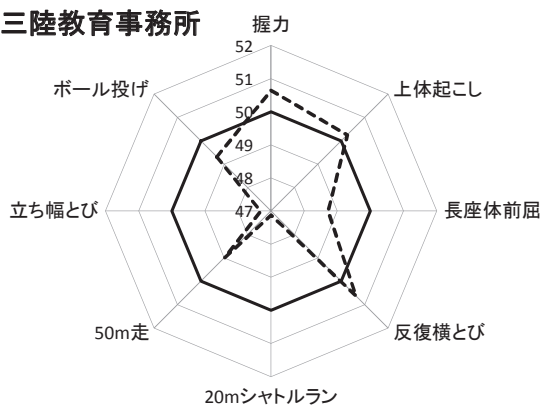
東部教育事務所



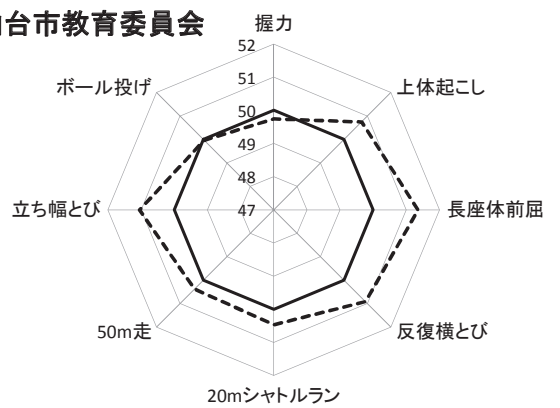
登米地域事務所



南三陸教育事務所



仙台市教育委員会



【地域別結果の概要】

圏 域	結 果
大河原教育事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校男子では、8種目中、長座体前屈以外の7種目で県平均を下回っている。 ・小学校に比べ、中学校で県平均を下回っている割合が高い。 ・小・中学校男女ともに反復横跳びは、県平均を下回っている。 ・20mシャトルランは、中学校男子を除き、県平均を上回っている。
仙台教育事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校ともに、県平均を下回る割合が高い。 ・立ち幅跳び、反復横とび、長座体前屈は、小・中学校男女全てで県平均を下回っている。 ・小学校男子においては50m走、女子においては上体起こしが県平均を上回っている。 ・中学校男女ともに、20mシャトルランにおいて県平均を上回っている。
北部教育事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校女子を除き、県平均を下回る割合が高い。 ・立ち幅跳び、50m走、上体起こしは、小・中学校男女全てで県平均を下回っている。 ・小学校男女ともに、反復横跳びにおいて県平均を上回っている。 ・中学校男女ともに、握力において県平均を上回っている。
栗原地域事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校女子は、全ての種目で県平均を上回っている。 ・小学校女子は、上体起こしで県平均を下回ったが、その他の種目は県平均を大きく上回っている。 ・握力は、小・中学校男女全てで県平均を大きく上回っている。
東部教育事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校男女ともに、県平均を下回っている割合が高い。 ・小学校において、男女とも握力は県平均を上回ったが、その他の種目は県平均を下回っている。 ・中学校において、男子は立ち幅跳び、女子は反復横跳びにおいて県平均を上回っているが、その他の種目は県平均を下回っている。
登米地域事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校男子は、20mシャトルランを除き、県平均を上回っている。 ・小学校男女ともに、立ち幅跳びで県平均を大きく上回っている。 ・中学校男女ともに、ボール投げ、50m走で県平均を上回っている。 ・握力については、小学校男子を除いて県平均を下回っている。
南三陸教育事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校女子は、全ての種目で県平均を上回っている。 ・握力は、小・中学校男女全てで県平均を上回っている。 ・小・中学校男女ともに、握力と反復横跳びで県平均を上回っている。 ・50m走、ボール投げにおいて、小学校女子を除き県平均を下回っている。
仙台市教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校男女において、県平均を上回る割合が高い。 ・各種目に偏りのないバランスの良い結果となっている。 ・立ち幅とび、50m走、反復横とび、上体起こし、長座体前屈は、小・中学校男女全てで県平均を上回っている。

3 平成28年度宮城県小・中・高等学校体力・運動能力調査 平均値 一覧

男子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (折り返し数)	持久走 (秒)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
小学校1年生	9.30	11.43	25.71	26.77	17.74		11.71	110.43	<u>8.45</u>
小学校2年生	10.93	13.84	27.54	30.68	26.12		10.87	120.42	12.01
小学校3年生	12.64	15.79	29.23	34.38	33.93		10.31	131.02	15.75
小学校4年生	14.31	17.59	30.96	38.17	42.25		9.88	138.38	19.62
小学校5年生	<u>16.38</u>	19.33	33.18	41.79	49.33		9.52	<u>147.38</u>	<u>22.86</u>
小学校6年生	19.46	21.35	35.64	45.42	56.98		9.07	159.82	<u>26.73</u>
中学校1年生	23.55	23.19	38.45	48.57	66.95	449.57	8.71	175.50	<u>17.04</u>
中学校2年生	29.09	27.32	43.56	52.04	83.80	398.94	8.02	194.16	<u>19.84</u>
中学校3年生	<u>33.73</u>	29.66	46.72	54.60	90.36	389.49	7.63	207.30	<u>22.03</u>
高校1年生	<u>37.55</u>	29.40	47.83	56.70	85.43	389.21	7.49	216.34	<u>23.62</u>
高校2年生	39.95	31.29	49.79	57.98	91.64	378.19	7.35	221.64	25.13
高校3年生	<u>41.69</u>	32.18	51.21	58.70	92.03	382.68	7.27	225.17	26.05

女子	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (点)	20mシャトルラン (折り返し数)	持久走 (秒)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)
小学校1年生	8.83	10.86	27.93	25.90	15.25		12.01	103.26	5.78
小学校2年生	10.31	13.21	30.10	29.67	21.08		11.13	113.07	7.63
小学校3年生	11.98	15.11	32.45	33.13	26.28		10.57	123.76	9.68
小学校4年生	<u>13.75</u>	16.75	34.39	36.50	32.71		10.16	131.28	11.75
小学校5年生	16.31	18.48	37.35	39.97	39.14		9.70	141.73	14.08
小学校6年生	19.25	19.56	40.28	42.85	44.39		9.33	151.13	15.75
中学校1年生	21.43	20.27	42.25	44.94	48.76	312.95	9.22	160.71	10.76
中学校2年生	<u>23.42</u>	23.10	44.90	46.11	55.90	295.99	8.93	164.71	<u>11.82</u>
中学校3年生	<u>24.79</u>	24.42	46.72	46.61	56.27	297.06	8.83	167.81	<u>12.77</u>
高校1年生	25.28	22.96	46.68	47.91	48.75	311.11	8.94	166.86	<u>12.79</u>
高校2年生	26.32	24.33	47.61	48.22	51.05	306.92	8.92	167.18	<u>13.63</u>
高校3年生	26.74	24.62	48.54	48.44	51.01	313.56	8.96	169.06	<u>13.94</u>

※ボール投げは、小学校はソフトボール投げ、中・高等学校はハンドボール投げ

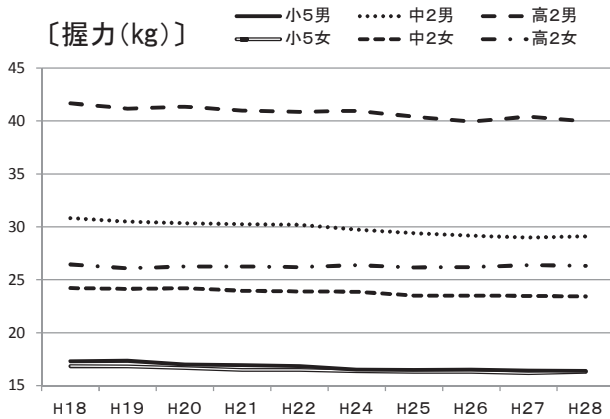
_____ 体力向上プロジェクト事業が始まった平成15年度からの県平均の最低値

■ 体力向上プロジェクト事業が始まった平成15年度からの県平均の最高値

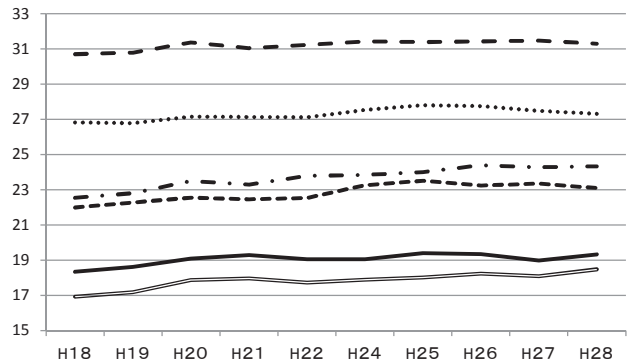
4 中期経年変化(平成18年度～平成28年度)[小5・中2・高2男女]

体力・運動能力調査の結果について、中期的な推移をみるため、平成18年度から平成28年度まで(平成23年度は調査を実施していない地域もあり、参考値としていることから除いている。)の経年変化をグラフで表した。比較の対象は、スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の対象学年(小学5年生、中学2年生)及び、高校2年生とした。

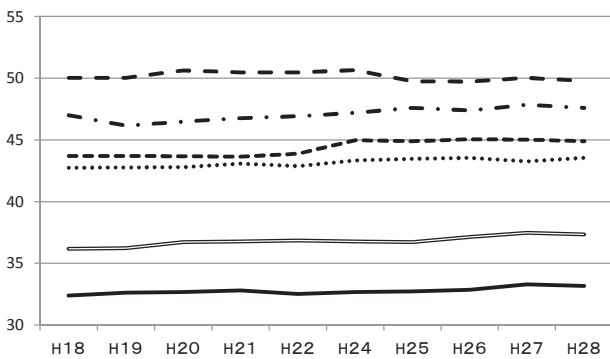
〔握力(kg)〕



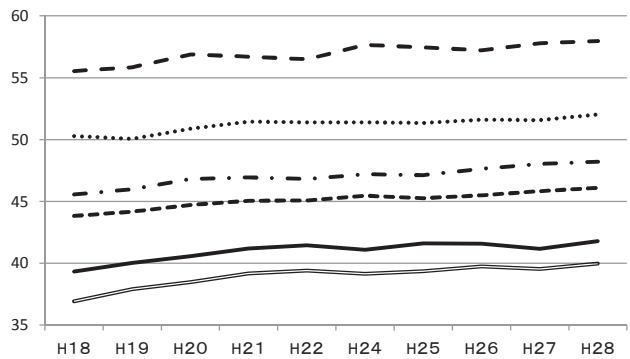
〔上体起こし(回)〕



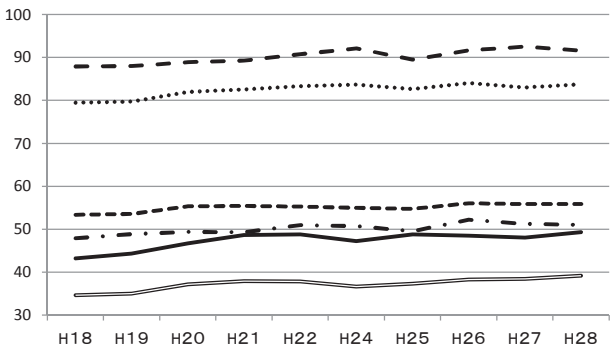
〔長座体前屈(cm)〕



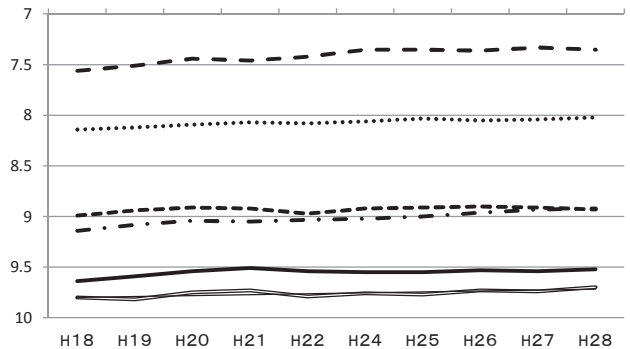
〔反復横とび(点)〕



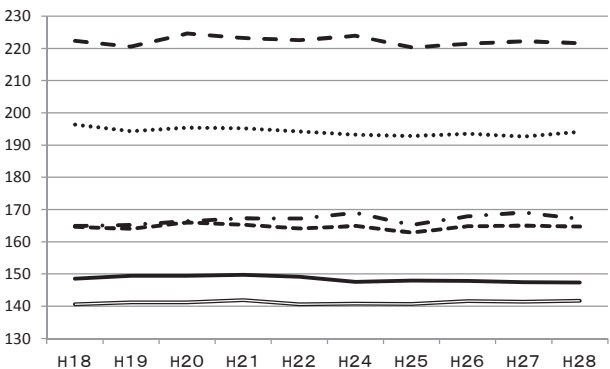
〔20mシャトルラン(回)〕



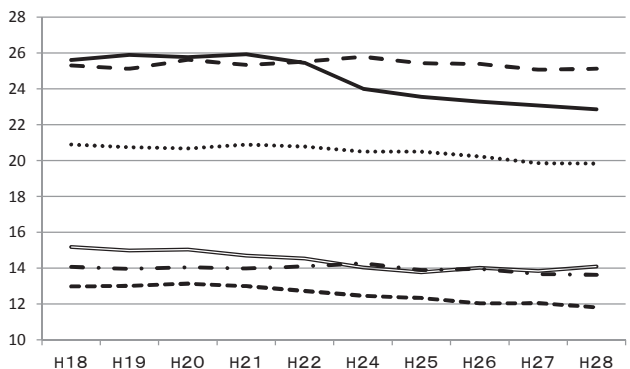
〔50m走(秒)〕



〔立ち幅とび(cm)〕



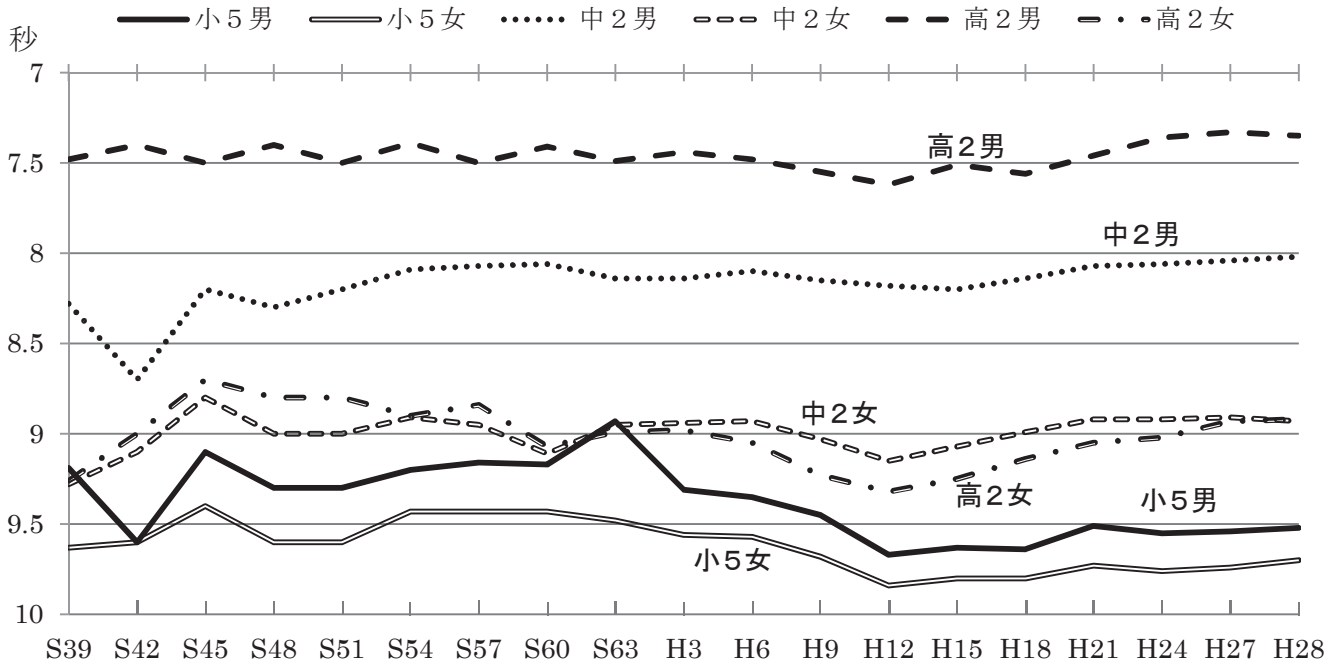
〔ソフトボール投げ(ハンドボール投げ)(m)〕



5 長期経年変化（昭和39年度～平成28年度）〔50m走：小5・中2・高2男女〕

体力・運動能力調査の結果について、県内における長期的な推移をみるため、昭和39年度から平成28年度までの経年変化をグラフにまとめた。なお、比較の対象としては、児童生徒の走力を反映すると考えられる「50m走」の結果を取り上げることとした。併せて、対象学年としては、スポーツ庁が実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」対象学年の小学5年生、中学2年生に加え、高校2年生の結果を取り上げることとした。

小5・中2・高2男女50m走



【中期経年変化結果概要】

	概 要
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・上体起こし、反復横跳び、20mシャトルランは男女とも向上傾向を示している。 ・長座体前屈、50m走、立ち幅跳びは、男女とも横ばいの傾向を示している。 ・握力は、男女ともに継続した低下傾向を示している。 ・ボール投げは、男子で平成22年度以降低下している。女子は25年度以降低下に歯止めがかかっている。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・握力、ボール投げは、男女とも継続的に低下している。 ・反復横とび、50m走は、男女とも向上傾向が見られる。 ・長座体前屈は、女子で平成24年度に向上し、それ以降は横ばいの状態が続いている。
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・握力、ボール投げについては男女ともに、長座体前屈は男子において低下傾向を示している。 ・上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、50m走は、男女とも向上傾向を示している。 ・立ち幅跳びは、横ばいの傾向にある。

【長期経年変化結果概要】

	概 要
小学校	昭和63年度をピークに平成12年度まで低下していたが、それ以降は低下に歯止めがかかり、平成21年度までは向上傾向も窺わせた。その後いったんは低下したものの、緩やかな向上が続いている。
中学校	平成12年度までは、上昇下降を繰り返しながらやや低下傾向にあったが、平成12年度以降、男子は継続して向上している。女子については男子同様、継続して向上していたものの、ここ数年は横ばいの傾向にある。
高等学校	中学校と同様に平成12年度までは、上昇下降を繰り返しながらやや低下傾向にあったが、平成15年度以降は向上傾向にある。

Ⅱ

全国体力・運動能力，運動習慣等 調査（宮城県分）結果について



学級対抗駅伝に取り組む中学生の様子

「平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

調査の概要

- 1 調査期間 平成28年4月から7月末まで
- 2 調査対象 全国の小5男女、中2男女全員（悉皆調査）
 - 全国調査では、国立、公立、私立学校全ての学校を対象としている。
 - 今回の県集計においては、公立学校のみデータ（全国、宮城県とも）を用いている。
 - 宮城県のデータについては、仙台市立学校を含んでいる。

3 調査参加学校・児童生徒数

	小学校5年生 男・女		中学校2年生 男・女	
	学校数（校）	調査児童数（人）	学校数（校）	調査生徒数（人）
宮城県 (仙台市を含む)	383	18,712	207	19,346
全 国	19,886	1,022,548	9,789	984,157

4 調査事項及び内容

① 実技に関する調査…新体カテスト（8種目）

- 1) 握力
- 2) 上体起こし
- 3) 長座体前屈
- 4) 反復横とび
- 5) 持久走, 20mシャトルラン
※小5男女は20mシャトルラン, 中2男女はどちらか1種目を選択実施。
- 6) 50m走
- 7) 立ち幅とび
- 8) ソフトボール投げ, ハンドボール投げ
※小5男女はソフトボール投げ, 中2男女はハンドボール投げを行う。

② 児童生徒に対する質問紙調査

- 運動習慣, 生活習慣等

③ 学校に対する質問紙調査

- 子どもの体力向上に係る学校の取組等

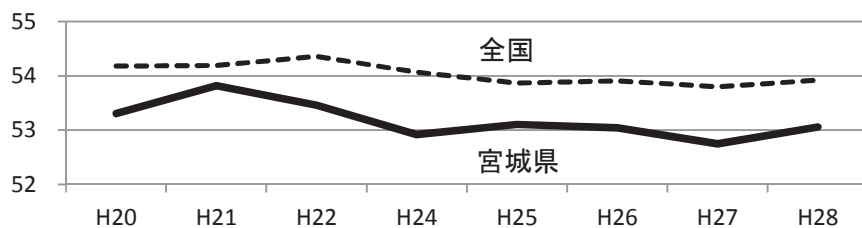
1 体力合計点の推移(H20年度から実施)

H23年度は実施していない

小5男子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
宮城県	53.31	53.82	53.46	52.92	53.11	53.04	52.75	53.06
全国	54.18	54.19	54.36	54.07	53.87	53.91	53.80	53.92
順位	36	30	35	41	36	40	42	38

【考察】

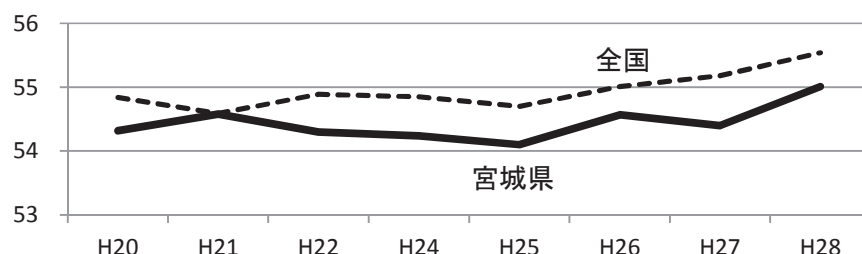
体力合計点はほとんど変化がなかったが、全国平均との差は縮まっている。



小5女子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
宮城県	54.32	54.58	54.30	54.24	54.10	54.57	54.40	55.01
全国	54.84	54.59	54.89	54.85	54.70	55.01	55.18	55.54
順位	31	25	28	32	32	33	37	32

【考察】

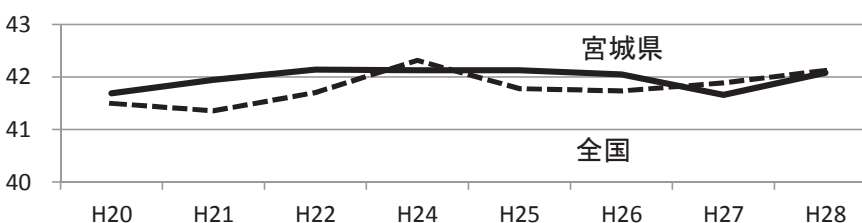
体力合計点はわずかに向上し過去最高となった。全国平均との差も縮まっている。



中2男子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
宮城県	41.69	41.95	42.14	42.13	42.13	42.05	41.66	42.08
全国	41.50	41.36	41.71	42.32	41.78	41.74	41.89	42.13
順位	22	18	17	23	19	21	32	27

【考察】

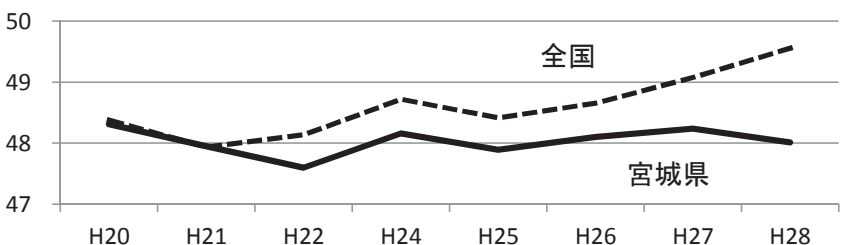
体力合計点はほとんど変化はなかったが、全国平均と同水準にある。



中2女子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
宮城県	48.31	47.95	47.60	48.16	47.89	48.10	48.24	48.01
全国	48.38	47.94	48.14	48.72	48.42	48.66	49.08	49.56
順位	24	24	30	27	29	26	34	45

【考察】

体力合計点は、ほとんど変化はなかったが、全国平均は過去最高となり、全国平均との差が広がっている。

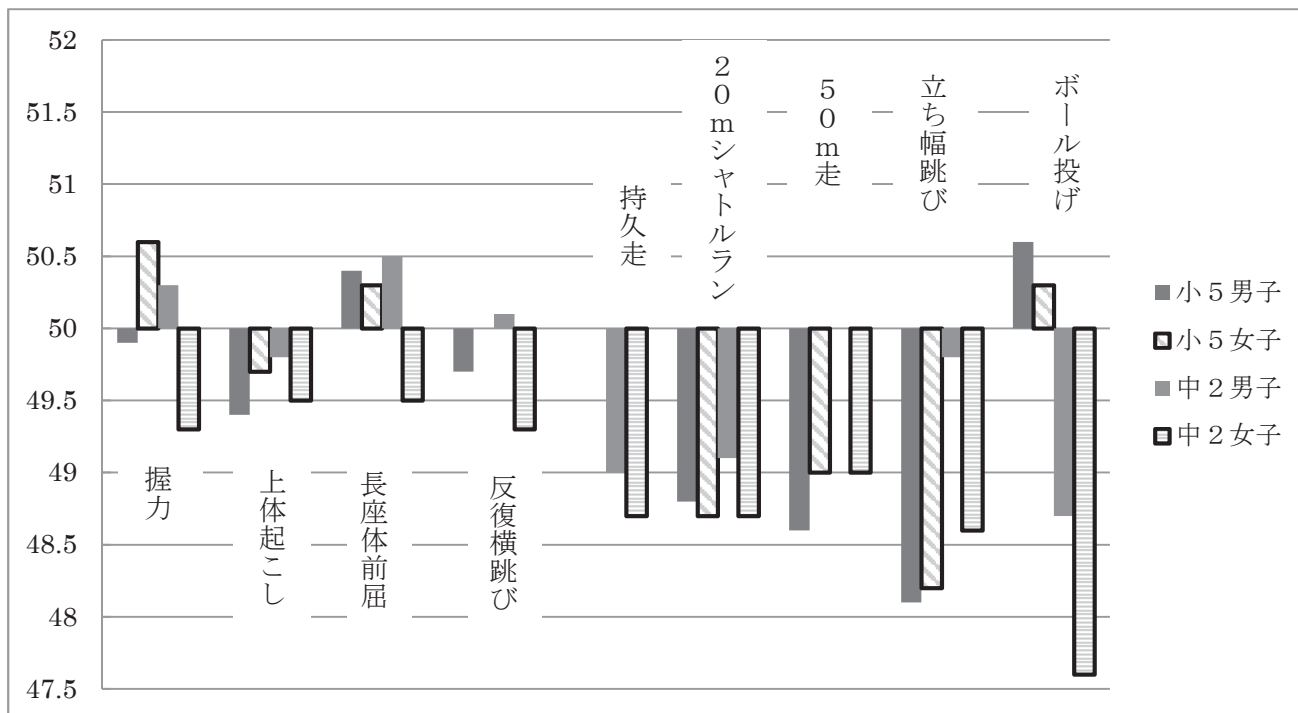


※体力合計点とは、小・中学校で各8種目の記録を男女別に点数化(1~10点)し、その合計点を80点満点で数値化したもの。

※スポーツ庁では体力合計点の変化を「±0.5未満」は「ほとんど変化なし」、「±0.5~1未満」は「わずかに高(低)かった。」、「±1以上」は「高(低)かった」としている。

※順位は宮城県独自集計による。

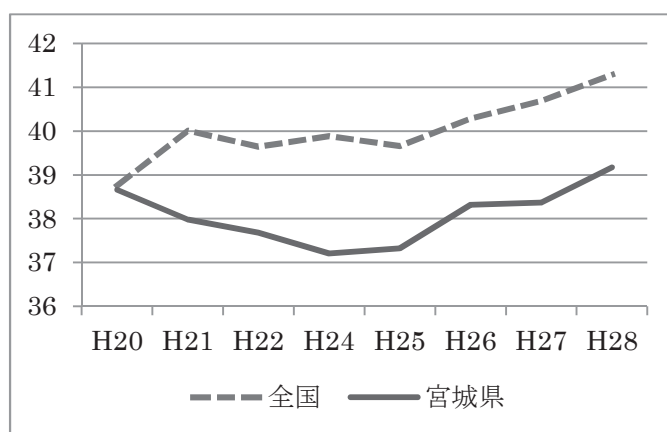
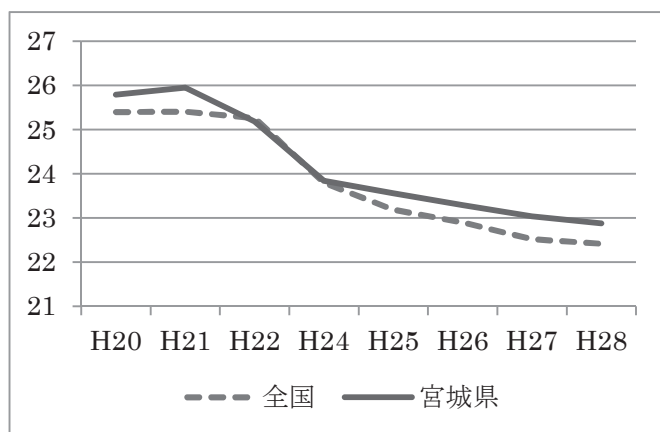
2 種目別のT得点比較



- ① 全体的に全国平均となる 50 ポイントを下回っている。
- ② 上体起こし, 持久走, 20m シャトルラン, 立ち幅とびの4種目については, 小5男女, 中2男女ともに全国平均を下回っている。
- ③ 小5男女の長座体前屈, ソフトボール投げは全国平均を上回っている。
- ④ 全国平均を上回っている「ソフトボール投げ (小5男子)」や, 全国平均を下回っている「20mシャトルラン (小5女子)」についての分析は, 下図のとおりである。(下図参照)

【ソフトボール投げ 小5男子】

【20mシャトルラン 小5女子】



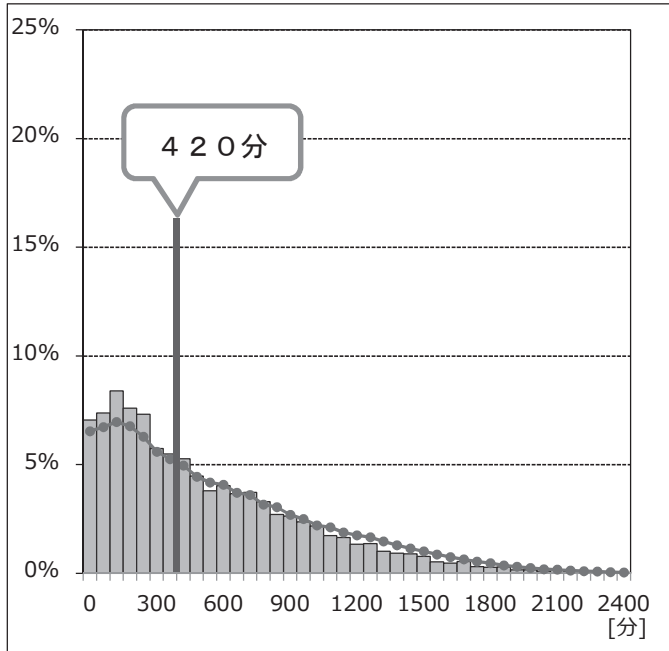
本県の記録はゆるやかに下降しており過去最低値となったが, 全国も同様に下降しているため, 結果として全国平均値を上回った。

本県の記録はゆるやかに上昇しており過去最高値となったが, 全国も同様に上昇しているため, 結果として全国平均値を下回った。

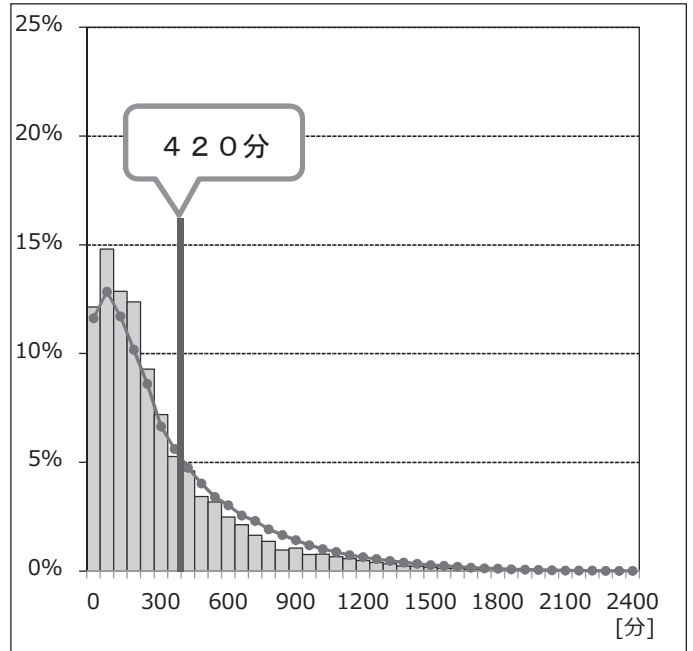
3 運動時間の状況（一週間の総運動時間）

（宮城県：棒グラフ 全国：折れ線グラフ）

【小5男子】

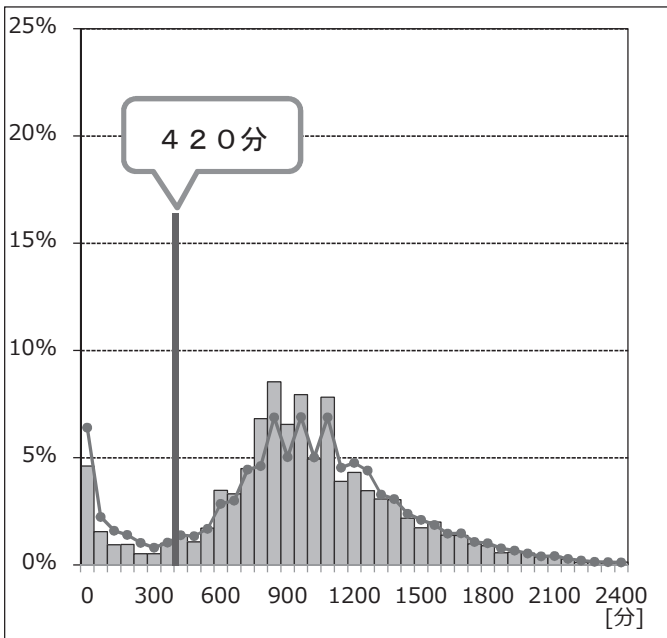


【小5女子】

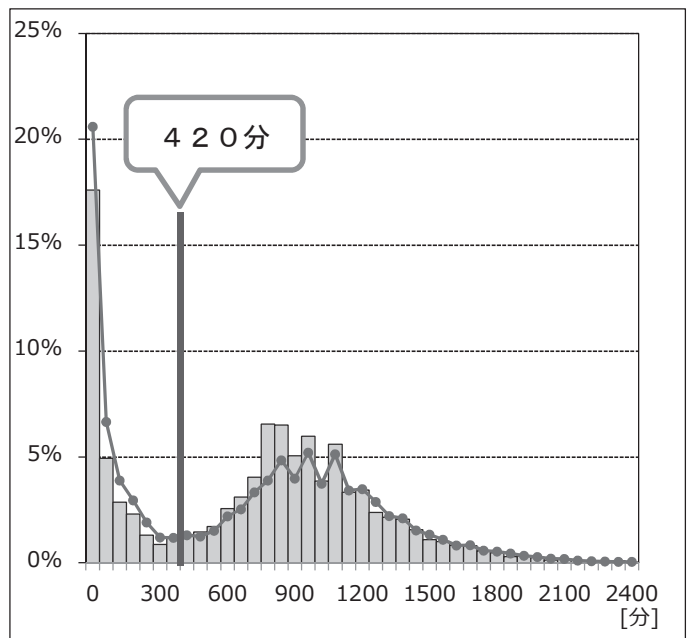


- 420分以上の児童の割合が、男子で51.1%、女子で26.1%と全国よりも低い。
- 60分未満の児童の割合は、男子で7.0%、女子で12.1%と全国よりも高い。

【中2男子】



【中2女子】



- 420分以上の生徒の割合が、男子で89.9%、女子で69.0%と全国よりも高い。
- 中学生の総運動時間が小学生より高くなっているのは、運動部活動によるものと考えられる。

※420分は、運動習慣が身につけている目安とされる「1日60分の運動」を週7日間行った場合の時間。

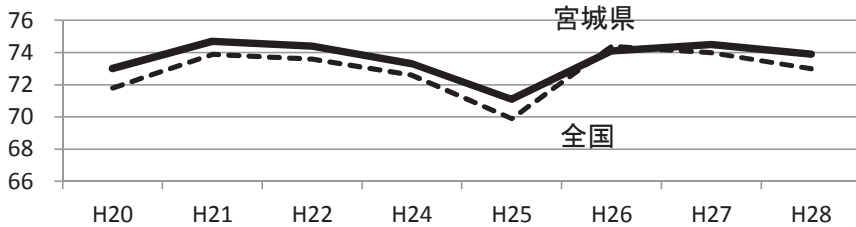
4 「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツが好き」と答えた児童生徒の割合 (H20年度から実施)

H23年度は実施していない

(単位: %)

小5男子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
宮城県	73.0	74.7	74.4	73.3	71.1	74.1	74.5	73.9
全国	71.8	73.9	73.6	72.6	69.9	74.4	74.0	73.0

【考察】

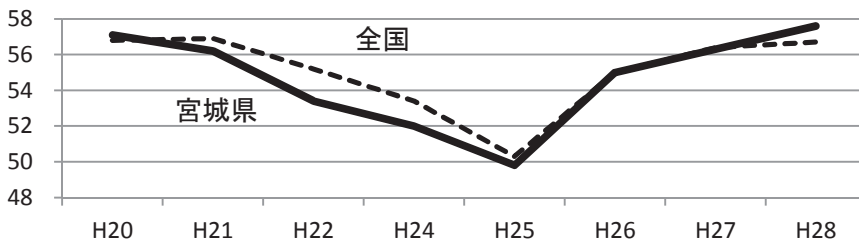


○小5男女, 中2男子は, 全国と同じような推移をしている。

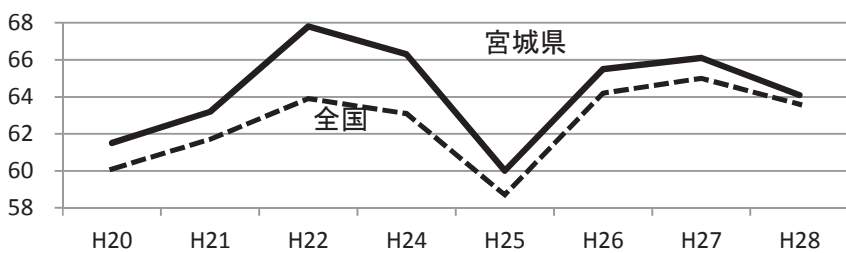
○「運動が好き」としている割合は, 小5, 中2とも, 女子に比べ男子が高い。

○中2女子は, 「運動が好き」としている割合が全国より低い。

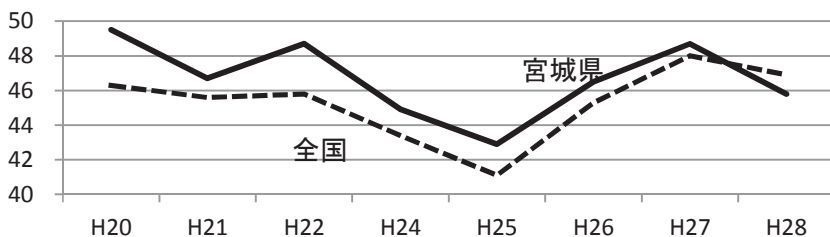
小5女子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
宮城県	57.1	56.2	53.4	52.0	49.8	55.0	56.3	57.6
全国	56.8	56.9	55.2	53.4	50.3	55.0	56.4	56.7



中2男子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
宮城県	61.5	63.2	67.8	66.3	60.0	65.5	66.1	64.1
全国	60.1	61.7	63.9	63.1	58.7	64.2	65.0	63.6



中2女子	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28
宮城県	49.5	46.7	48.7	44.9	42.9	46.5	48.7	45.8
全国	46.3	45.6	45.8	43.4	41.1	45.3	48.0	46.9



※ 「好き・やや好き・やや嫌い・嫌い」の項目のうち「好き」と答えた児童生徒の割合の推移